

第7回川崎医科大学学術集会在開催される

8月6日(土)
午前10時30分
より、医大校
舎棟M-800(口
頭発表)、7・8
階学生・教職
員ラウンジ(ポ
スター発表)



において、第7回川崎医科大学学術集会在開催された。本学術集会在は、川崎医科大学と川崎医学会が共催して実施するもので、前年度に川崎医科大学プロジェクト研究に採択された全課題の研究成果を一堂に会して発表するものである。

プロジェクト研究では、平成27年度採択課題の内、口頭発表は11題、ポスター発表124題が発表された。加えて、本学が幹事校として実施している「吉備地域産学官連携知的財産活用ネットワーク」の参加校からの発表として、福山大学、岡山県立大学、川崎医療福祉大学からの発表、また、中央研究センターの活動紹介として、今年度は、分子細胞生物ユニットにおける研究支援の発表が行われた。また、今年度から新たに、研究マインド醸成の一環として、平成27年度「医学研究への扉」で実施された学生の研究について、3名のポスター発表が

行われた。日頃なかなか知ることができない学内研究者の研究について質疑応答が交わされ、活発な意見交換が行われた。また、ネットワーク間の交流も図ることができ、今後の共同研究等の契機となった。

最後に、優秀な発表に表彰状と川崎医学会からの記念品が贈呈され、最優秀発表賞 沖田理貴講師(呼吸器外科学)、優秀発表賞 辻岡貴之講師(検査診断学(病態解析))・池田征樹大学院生(呼吸器内科学)、最優秀ポスター賞 大植祥弘講師(呼吸器内



科学)、優秀ポスター賞 小野公嗣講師(解剖学)・氏原嘉洋助教(生理学1)・小畑淳史臨床助教(糖尿病・代謝・内分泌内科学)・内藤忠相助教(微生物学)・矢田豊隆講師(医用工学)・濱本真一大学院生(解剖学)がそれぞれ受賞し、表彰式が行われた。

また、「医学研究への扉」のポスター発表については、発表学生及び指導教員に特別賞が贈られた。

(中央教員秘書室 研究支援係)

